

神戸市ネットモニターアンケート調査結果

テーマ	身近な防災の取組みについて
調査期間	令和元年5月14日(火曜)～5月27日(月曜)
設問数	全7問(分岐設問除く)
対象モニター数	5,445名
回答モニター数	3,712名(68.2%)

【調査結果概要】

梅雨のシーズンに入りましたが、「くらしの防災ガイド」はご自宅に届きましたか？

神戸市は自然災害に備え、治山や河川改修、防潮堤の整備などの事業を進めていますが、災害発生時には、自分の命は自分で守ることが第一。そのための備えをみなさんそれぞれで考えておかなければなりません。

今回のアンケートへの回答自体が、“備える”きっかけになったとの声もいただきました。

これからも皆さんの行動につながるよう、様々な機会にとらえて身近な防災に役立つ情報を発信していきます。

《備蓄について》

南海トラフ巨大地震に備え、必要な家庭での備蓄は「最低3日分、できれば7日分」。

今回の調査で3日以上備蓄している方は4割でした。

「くらしの防災ガイド」のチェックリストなどを参考に、各自必要なものと量を、ローリングストック法を活用し、大雨・台風などにも備えていただけるよう啓発に努めてまいります。

《家具の固定や配置の工夫について》

地震発生時の家具の転倒などについて7割以上の方が対策を講じていることが分かりました。住宅の耐震化がすすめられている一方で、昨年発生した大阪北部地震では家具の転倒が原因で亡くなった方もいらっしゃいました。「家具固定補助制度」及び「家具固定専門員派遣制度」を8割以上の方が知らないという結果を踏まえ、効果的な広報・啓発活動に努めてまいります。

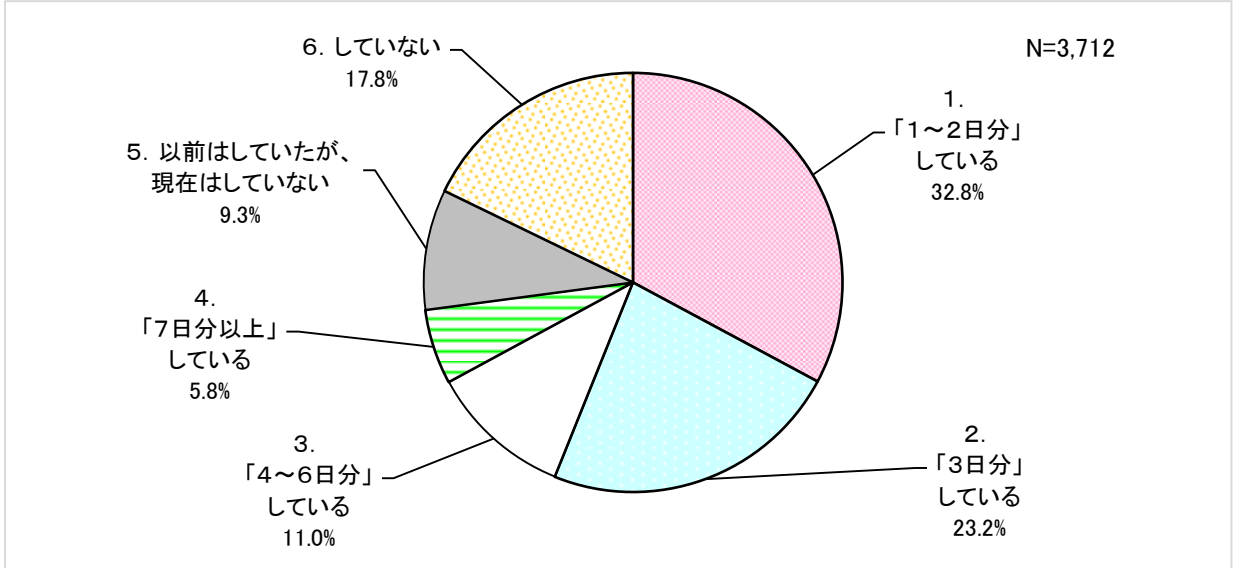
《感震ブレーカーについて》

通電火災の予防に効果的な「感震ブレーカー」を、7割以上の方が知らないという結果でした。費用と設置方法について理解していただけるような広報活動に努めるとともに、停電への備えも啓発してまいります。

《備蓄について》

問1

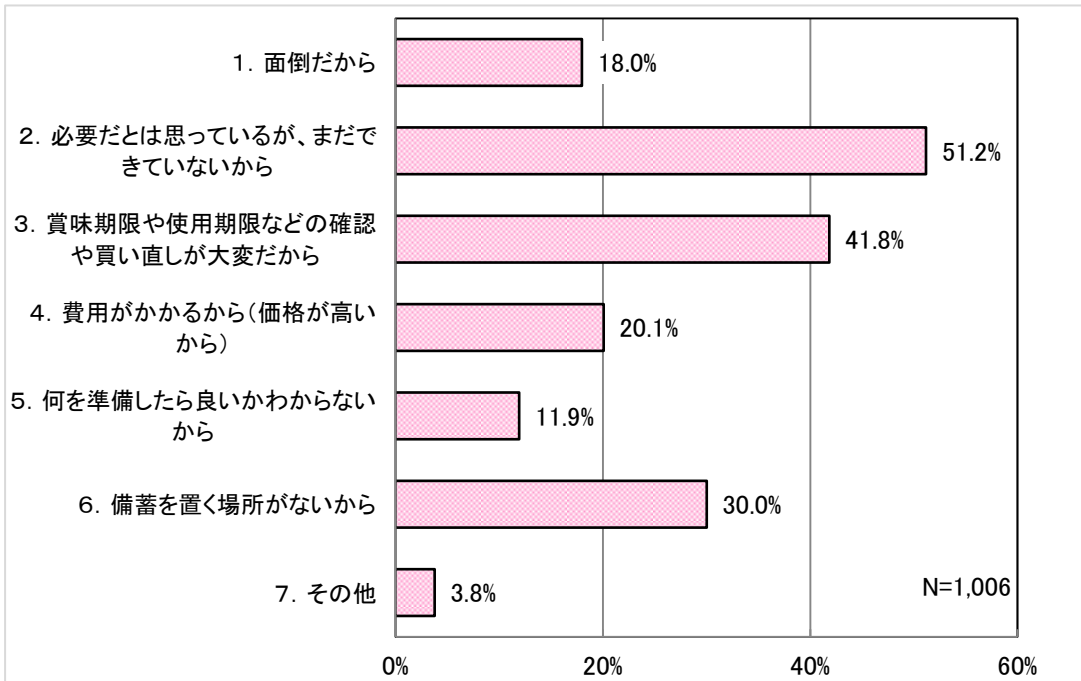
普段から非常食や飲料水などを備蓄したり、普段のお買い物の際に少し多くの食料品を買い置きしたりするなど、災害に対して何日分の備蓄をしていますか。



＜災害に対する備えを以前はしていたが、現在はしていない方、
災害に対する備えをしていない方＞

問1-1

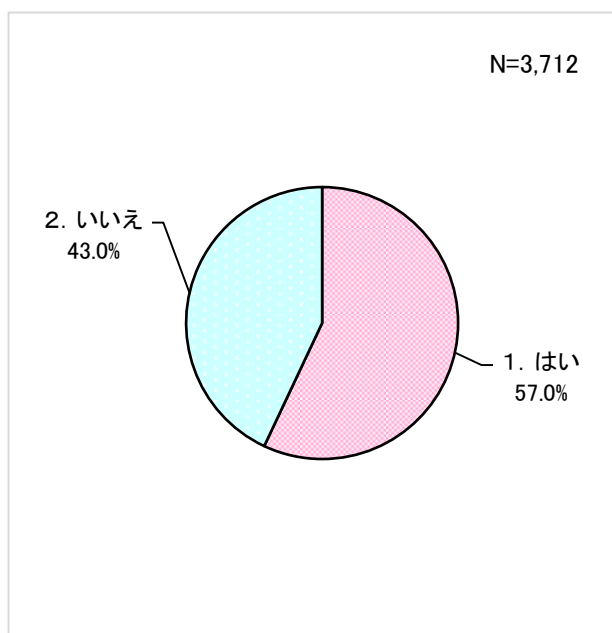
食料品（飲料水・非常食等）を備蓄していない理由を選択してください。（3つまで）



「7. その他」

- ・ 必要性を感じないから
- ・ ある程度の買い置きがあるから
- ・ (経済的・時間的に) 余裕がないから
- など

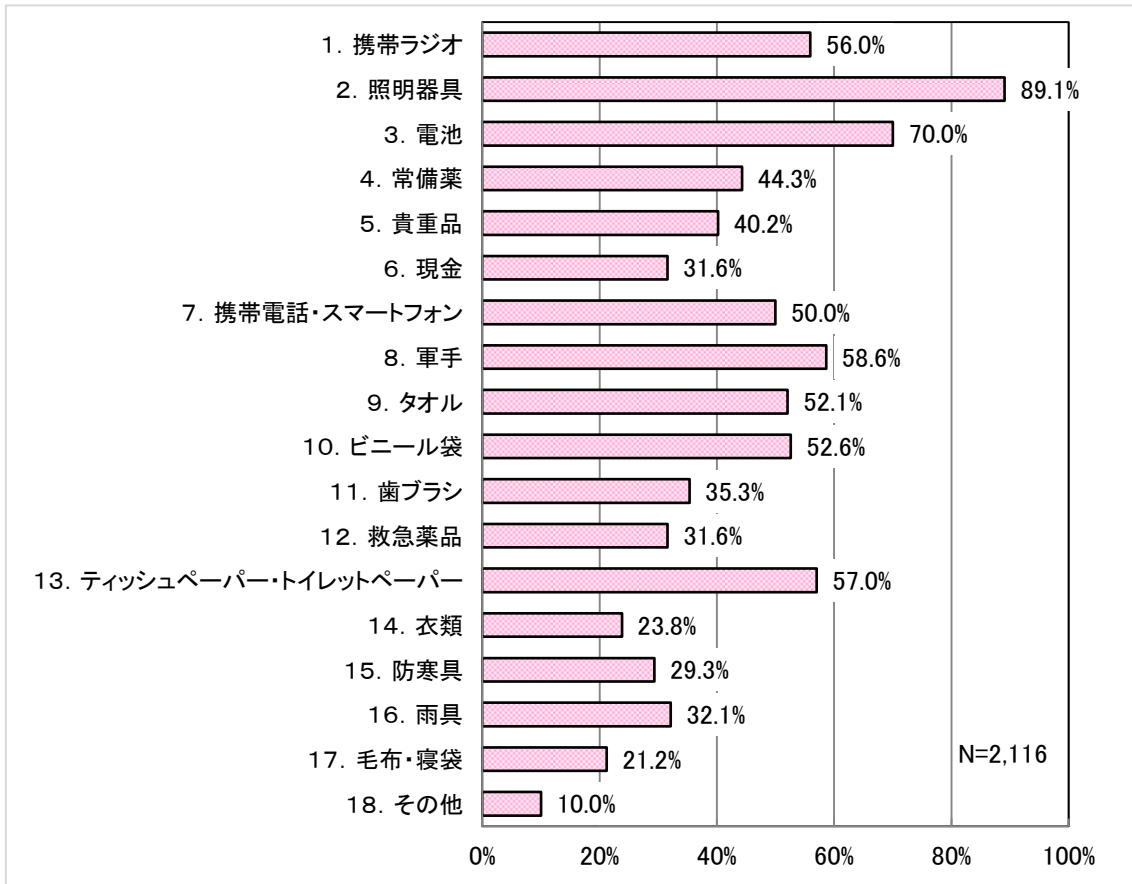
問2 食料品（飲料水・非常食等）以外で、災害に備えていますか。



<食料品（飲料水・非常食等）以外で、災害に備えている方>

問2-1

具体的に何を備えていますか。（該当するものすべて）

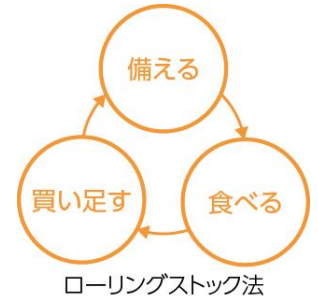
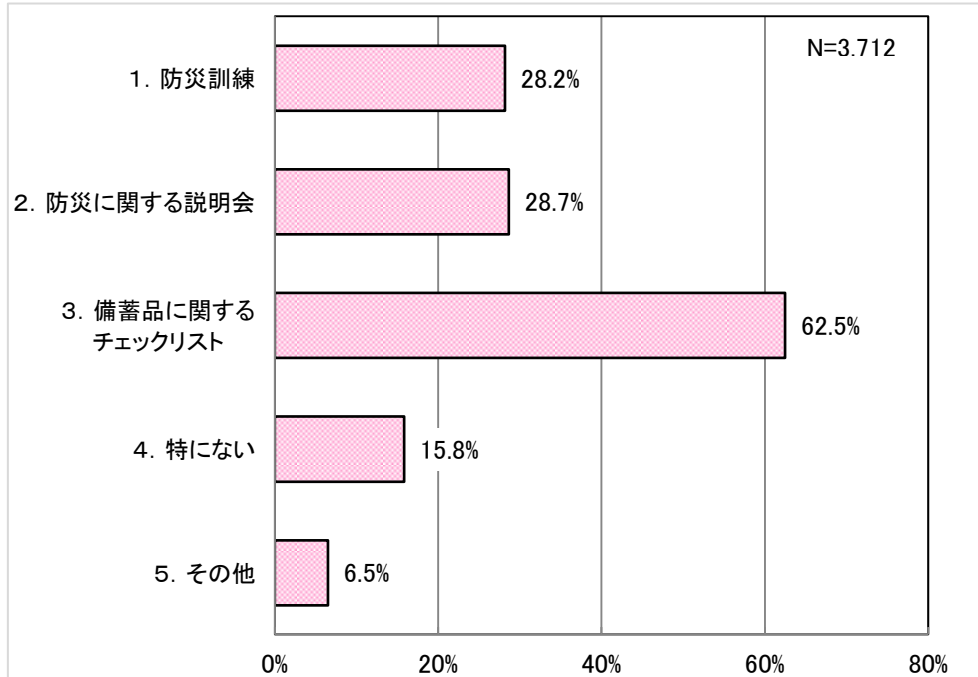


「18. その他」

- ・簡易トイレ ・生理用品 ・おむつ
- ・カセットコンロ(ボンベ) ・ラップ ・簡易の食器類 ・(水)タンク
- ・ヘルメット ・リュックサック ・くつ(スリッパ) など

問3

具体的にどのような機会があれば、災害に備えるきっかけになりますか。(3つまで)



「5. その他」

- ・災害が発生した時（経験・報道など）
- ・防災関連のニュース・情報（新聞・テレビ・広報紙・インターネット・SNS など）
- ・既に備えている
- ・防災用品の販売
- ・防災訓練（備蓄品の配布）

など

※チェックリストはこちら

<http://www.city.kobe.lg.jp/safety/prevention/preparation/stockpile/img/checkrist29.pdf>

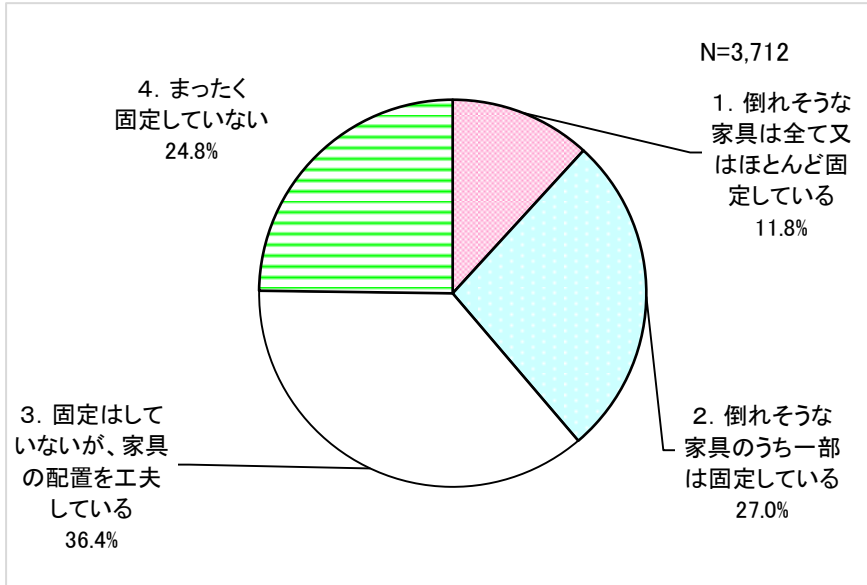
※ローリングストック法について詳しくはこちら（広報紙 KOBE 平成 27 年 9 月号より）

<http://www.city.kobe.lg.jp/safety/prevention/preparation/stockpile/img/201508241403rollingstock.pdf>

《家具の固定や配置の工夫について》

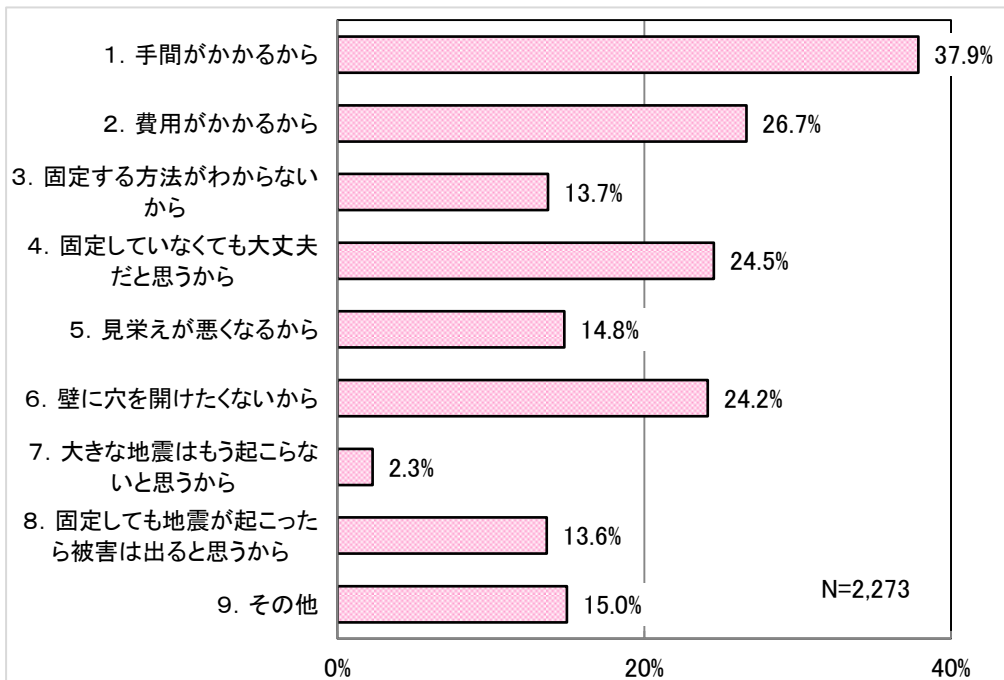
問4

地震が発生した際に、家具が転倒したり移動したりするのを防ぐため、家具の固定を行っていますか。



＜家具の固定をしていない方＞

問4-1 家具の固定をしていない理由は何ですか。（該当するものすべて）

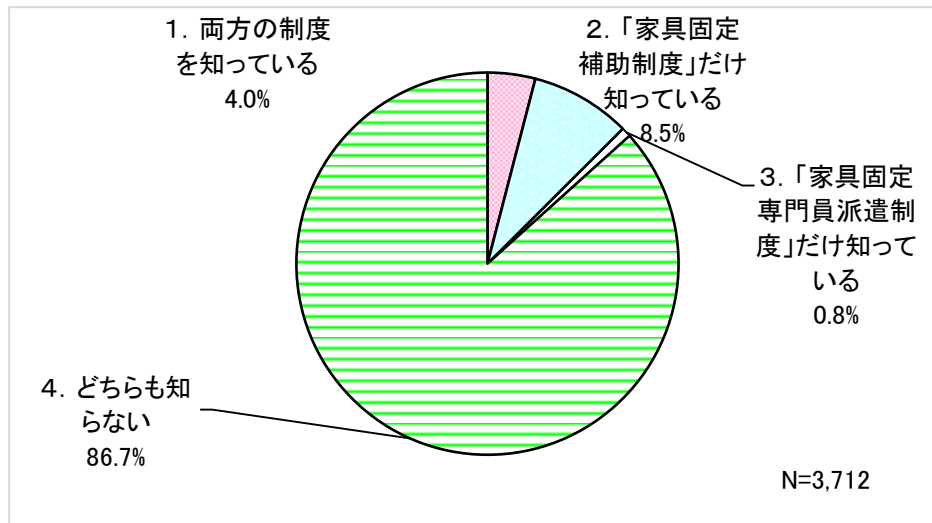


「9. その他」

- ・賃貸住宅などで固定ができないから
- ・高い家具がないから（低い家具・壁付け家具のみ） など

問5

神戸市で実施している、「家具固定補助制度」と「家具固定専門員派遣制度」を知っていますか。



「神戸市家具固定補助制度」等については、まず『すまいるネット』へお問合せください

すまいるネット TEL:078-222-0186 受付時間:10:00~17:00(水曜/日曜/祝日を除く)

- 個人向け「家具固定補助制度」～工務店などに依頼して行う家具固定費用に対する補助～
 - 【対象世帯】65歳以上、障がい者、小学生以下の子どもがおられる世帯
 - 【補助対象事業】工務店などが壁等に金具で固定する家具固定
 - 【補助金額】工務店などに依頼して行った家具固定の費用の1/2（最大1万円）

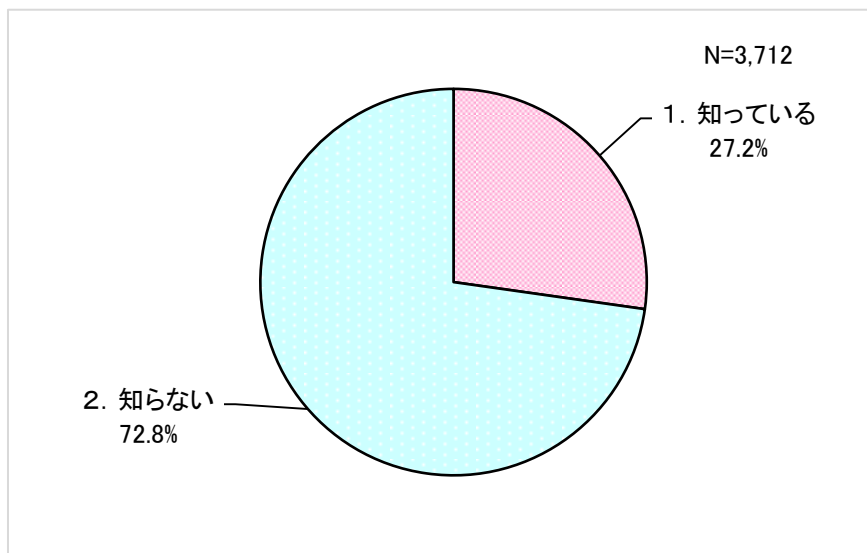
- 団体向け「家具固定専門員派遣制度」～地域団体の防災活動の一環として家具固定専門員を派遣～
 - 【申請者】5戸以上の方が家具固定を希望する地域団体の代表者
(自治会長、管理組合の理事長等)
 - 【派遣内容】家具固定専門員を派遣し、金具等で固定
 - ① 通常1家具あたり約1万円のところ、5,500～8,000円で実施
 - ② 65歳以上、障がい者、小学生以下の子どもがおられる世帯は、2家具まで無料実施

《感震ブレーカーについて》

問6

東日本大震災や阪神・淡路大震災では、火災の原因の多くが電気によるものだといわれています。

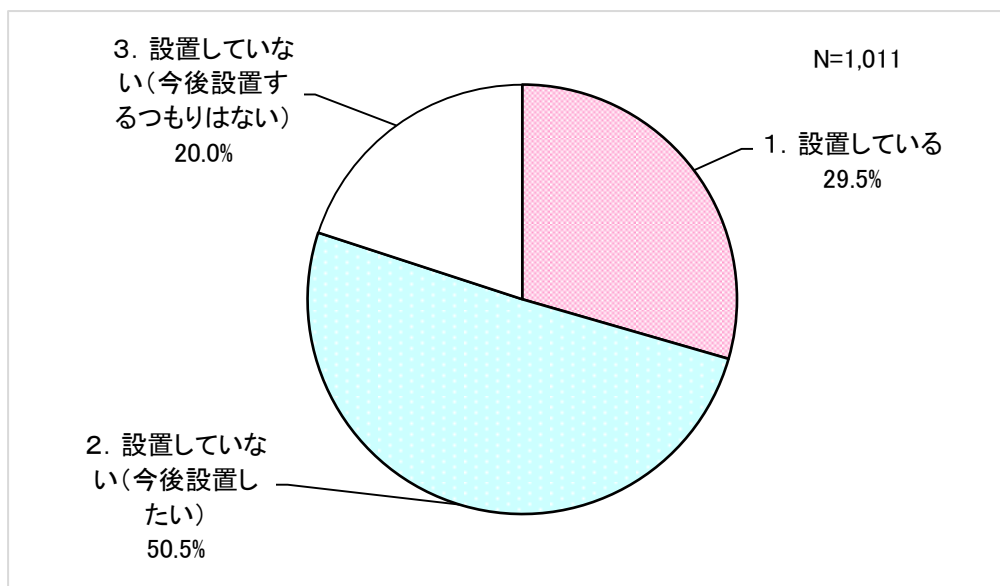
地震発生時に設定値以上の揺れを感知した場合、電気を自動的に止める器具「感震ブレーカー」を知っていますか。



「感震ブレーカー」について詳しくはこちら

https://www.meti.go.jp/policy/safety_security/industrial_safety/oshirase/2015/10/20190408-1.pdf

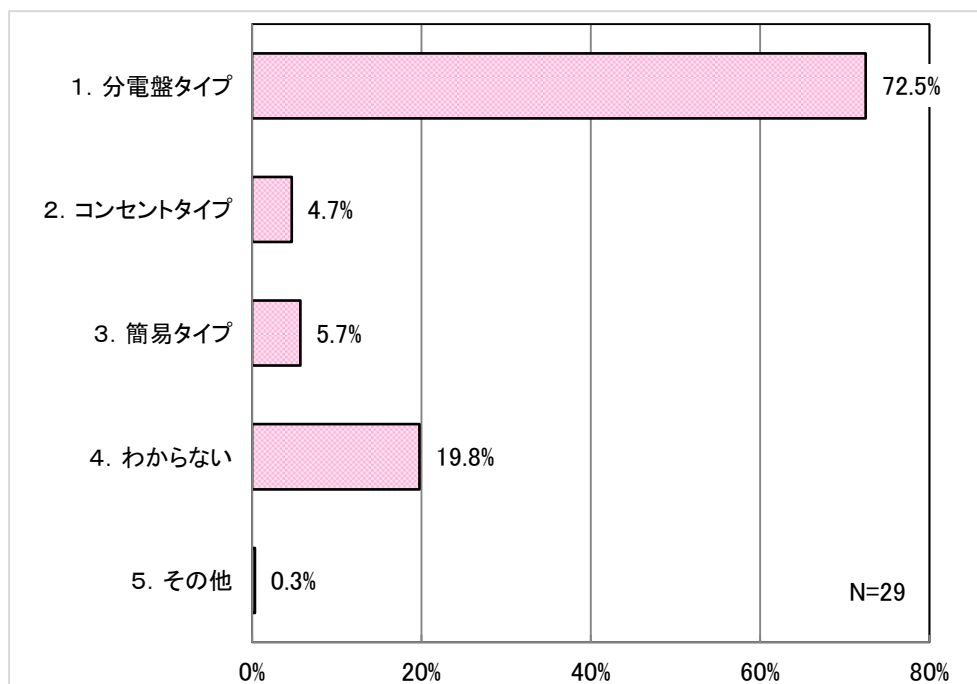
問6-1 ご自宅では、「感震ブレーカー」を設置していますか。



<「感震ブレーカー」を設置している方>

問6-2

設置している「感震ブレーカー」のタイプ(※)を教えてください。(該当するものすべて)

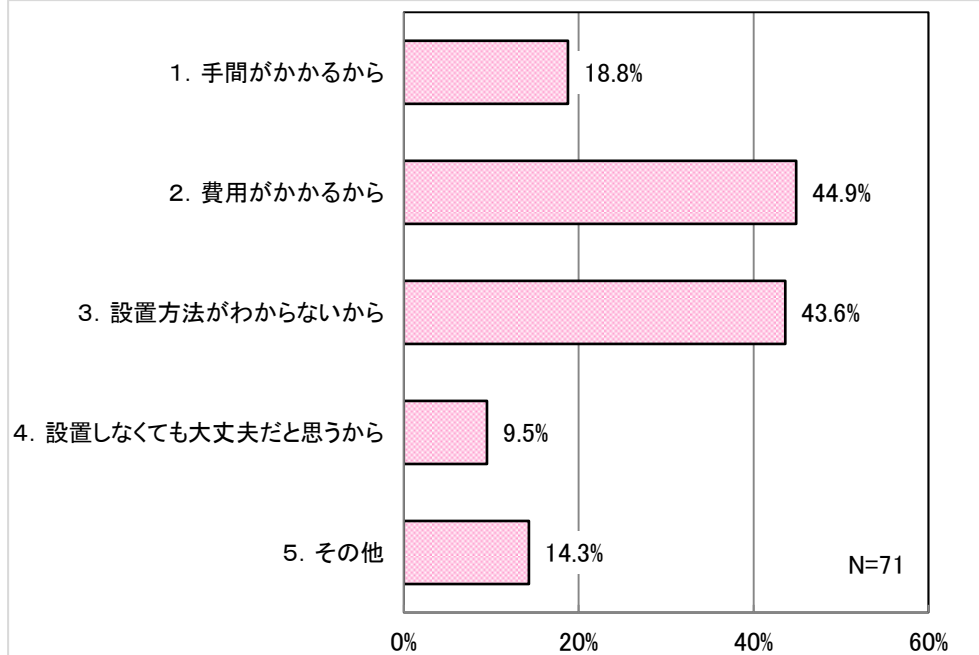


※

- ・分電盤タイプ：分電盤に内蔵、または接続した感震センサーが揺れを感知し、住宅内すべての電気を止める
- ・コンセントタイプ：コンセントに内蔵した感震センサーが揺れを感知し、そのコンセントからの電気を止める
- ・簡易タイプ：おもり玉又はバネの作動により、直接ブレーカーを落とす

<「感震ブレーカー」を設置していない方>

問6-3 「感震ブレーカー」を設置していない理由は何ですか。(該当するものすべて)



「5. その他」

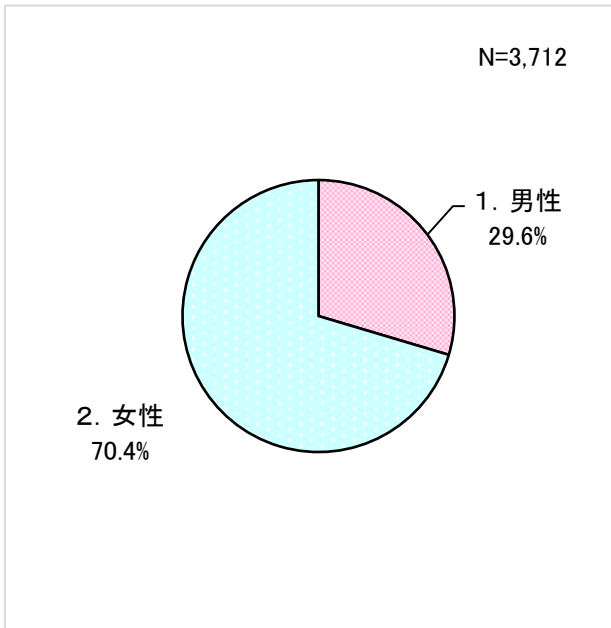
- ・賃貸住宅だから
- ・(感震ブレーカーのことを) 知らなかったから など

問7 家庭でできる災害への備えについて、ご意見、ご感想があればご入力ください。

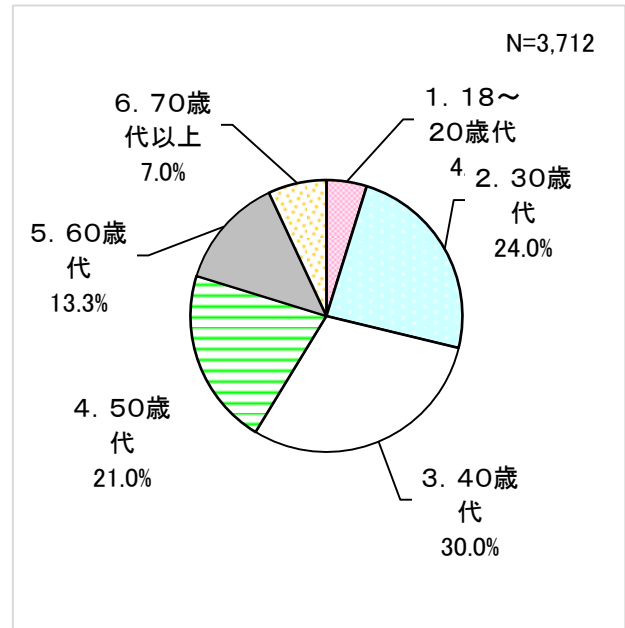
- ・緊急連絡先、あわてない、情報の収集、避難場所の確保。
- ・災害は突然やってくるのがわかっているけど費用がかかるのでつい後回しになってしまう。でも、大雨や台風など予測のつかない事態にもなることがこれから多くなっていくと思うので、少しずつでも出来ることから始めようと改めて思う。
- ・水と食料の備えしかしていませんが、やろうとすると、キリがないように思えます。最低限こころまでは！と言うのを教えてほしいです。
- ・阪神大震災の時、スーパーから食料品が無くなった状態を見ました。ガス電気がなくても食べられる食品を1週間分程常に置いており、定期的に消費期限を確認するようにしています。
- ・防災イベントなどに積極的に参加しているが、学校や地域単位でも楽しく防災が学べるイベントを行って欲しい。
- ・1月になると震災への関心が高まるが、他の月でも防災グッズや保存食等の備蓄品チェックリストが新聞や広報紙等に頻繁に目に付く機会があると良いと思う。

全1,274件のご意見をいただきました。ありがとうございました。

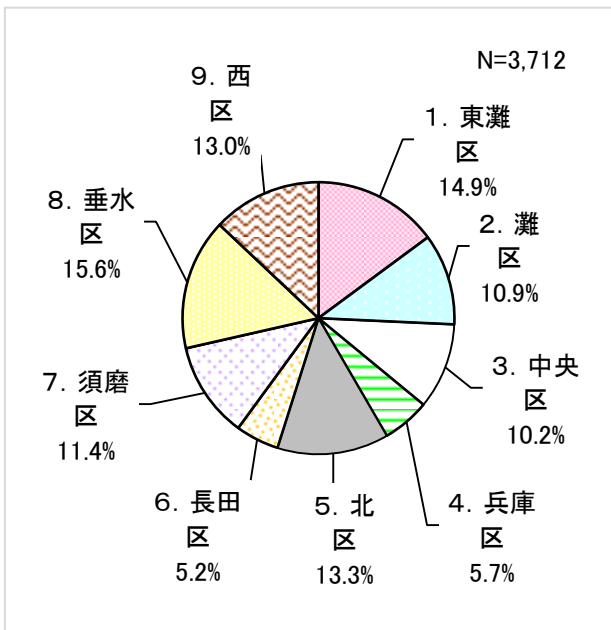
【性別】



【年代】



【居住区】



【職業】

